

NPO 法人 純正律音楽研究会会報 ～2021年11月発行～

# ひびきジャーナル



〒168-0072 東京都杉並区高井戸東 3-2-5-102 Tel:03-5317-0291  
Fax:03-5317-0289 e-mail:puremusic0804@yahoo.co.jp

発行日 2021年11月17日  
発行責任者 NPO 法人 純正律音楽研究会  
編集 相坂政夫

## No.70



山々の木々が美しく華やかな季節となりましたが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年度も残り1か月余りとなってまいりました。新型コロナウイルスの感染者が減り緊急事態宣言も解除され、邦人はもとより外国からのアーティストのコンサートもたくさん始まっています。当会のコンサートは、年内2回となりました。

11月26日(金曜日)「癒しの音楽コンサート」横浜市磯子区民センター「杉田劇場」午後2時開演で開催いたします。美空ひばりがデビューをした劇場で、ひばりの名曲を主に、クラシックの名曲、皆様がよくご存知の名曲の数々を、ヴァイオリン、ハープ、箏でお届けします。

また、12月18日(土曜日)は「クリスマスコンサート 2021」新宿の「牛込箏笛区民ホール」での開催となります。牛込箏笛区民ホールでは、ヴァイオリン2台、ハープ、箏、ピアノの編成で演奏いたします。

ご多忙中とは存じますが、ご来場いただければ幸いです  
今後とも純正律音楽研究会をよろしくお願い申し上げます。

## 美しいハーモニーを残して10年

洗足学園音楽大学客員教授・ヴァイオリニスト  
NPO 法人 純正律音楽研究会 代表  
水野佐知香

玉木さんが召されて10年、時が経つのがとても早く感じます。最近、事務局で、Fbに玉木さんのCDの音源を載せてくれています。そしてYouTubeで「玉木宏樹」を検索すると、玉木さんの沢山の音源が、とにかく凄いです。皆様もぜひ検索してみてください、玉木作品を堪能できます。曲数も種類も！今更ながらとてつもない才能です。

先日、ハーブの三宅さんが、映画「男はつらいよ 第2作」の1シーンで、クァルテットで演奏されている玉木さんを「この人誰でしょう？」と、Fbに挙げられていましたが、そろそろ生まれ変わられているかしら？と思う今日この頃です。

先日、吉原佐知子さんのお箏リサイタルが銀座の王子ホールで開催され、玉木さんの「二つの舞」を演奏しました。やはり玉木作品は心に残るようで、お客様がとても喜ばれていたようです。アンコールは玉木さん編曲の「埴生の宿」を演奏、すばらしいリサイタルでした。

吉原さんとは玉木さんが亡くなられてから、ハーブの三宅美子さんと一緒に活動していますが、彼女の才能はすごい！演奏も素晴らしいですが、私たちが使う五線譜からの音符を日本の音符に置き換えて弾かれています。日本人の作曲家の作品を自分の楽譜に直して弾かれています。これはなかなかできることではないそうです。彼女の楽譜を見ると、縦に日本の数字が書かれています。人知れず努力をされているのですね。

最近の音楽業界は活気を取り戻しているようです。新型コロナウイルスの感染者が減り緊急事態宣言も解除され、邦人はもとより外国からのアーティストのコンサートもたくさん始まっています。

先日、ヴァイオリンの名手「レオニダス・カヴァコス氏」のマスタークラスを聴くために浜離宮朝日ホールに行きました。受講生は、今の若手最高の3人、成田達輝さん、郷古廉さん、戸澤采紀さんでしたが、レベルの高い3人がどんどん変わって素晴らしい演奏になっていく姿を見て、私もとても良い勉強になりました。

日本人の最近の国際コンクールの活躍も素晴らしく、ミュンヘン国際コンクールの岡本さん、ショパンコンクールでも反田さん、小林さんの快挙は有名ですが、チェロの上野さんのジュネーブ国際コンクールでの優勝、バルトーク国際コンクールで弦楽四重奏での優勝などなど、今の26歳27歳の活躍に目を見張るものがあります。コンクール入賞者だけでなく、素晴らしい才能の人たちが多くとても誇らしい気持ちです。

また、ヨーヨーマのコンサートにも行ってきました。彼が舞台に出てきただけでお客様が熱狂、美しい音でミュザ川崎シンフォニーホール、どんな音で

も生きていて、彼の言葉で喋ってくれる音の世界に浸ってきました。やはり音楽は凄い。

今、マスタークラスとコンサートに富山に来ていますが、生徒さん達のレベルが毎年上がってきているのにびっくり、今までは音色のこと、音程のことが中心でしたが、今回のレッスンでは、いかに楽しく練習するか、いかに自分の言葉で演奏するか、身体の使い方、作曲家のことなどにも触れて、とても楽しいレッスンでした。どんどん変わっていく生徒さん達にまた日本の将来が、また楽しみに感じた1日でした。

富山に来る電車も満席、やっと活気が戻ってきたように感じます。感染が少ない今の時期に、色々なことをやっておもう！と、私も、高松までレッスンに来て欲しいと頼まれたり、多忙の毎日です。

私の87歳の母も妹たちとの旅行をしようとしたのですが、なかなか予約が取れなかったようです。ヨーロッパではまた新型コロナウイルスが流行ってきているようですが、私的には、また誰かがウイルスを撒いたの？と感じてしまいます。

コロナに負けない日本、そして気持ちの良い玉木さんのハーモニーを皆様に聴いていただき免疫力をアップして、明るい未来に少しでも貢献できればと思います。

### ムッシュ黒木の純正律講座 第69時限目

#### 平均律普及の思想的背景について(58)

純正律音楽研究会理事 黒木朋興

音楽学者にして歴史学者の上尾信也氏と話していて、前衛芸術の特徴の一つにマウンティングがあるのではないかと思いついた。

上尾氏の研究領域は中世で、上流階級の芸術音楽だけではなく、いわゆる芸人たちの芸能活動に研究の焦点を当てている。この時代、残っている資料が少ないので苦勞するのだが、その中でも残っている音楽や技芸の記録は、当時の人々に強く支持されたもの、つまり人気が高かったものと言って良い。

そんなことを上尾氏と話していたら、実は、前衛芸術の特徴にマウンティングがあるのではないか？という話になったのだ。なぜなら、前衛のアート作品は多くの人に理解されないことを誇りに思い、それどころか流行りの歌に熱狂する一般大衆に軽蔑の眼差しを投げかけることを掟としているような側面があるからである。

生きていた時は不遇を託つが、死後早すぎた天才として評価される、というのがアーティストの憧れの生き方になる。例えば『赤と黒』で有名な19世紀前半の小説家スタンダールや世紀末の天才詩人ランボーなどが挙げられる。また、ボードレールが、なかなか評価してもらえないと嘆く若きマネに対して、自分やワーグナーだって周囲の無理解をひたすら耐える時代を経て傑作をものにしたのだ、と叱咤激励したことも言い添えておく。ボーヴォワールによれば、サルトルも小説『嘔吐』が売れてしまったせいでスタンダールのように死後に再評価される作家になれなくて残念だと洩らしたという。

マラルメも文字通り売れない作家であった。事実、文筆で食べることを早々に諦め、糊口を凌ぐ手段としての高校の英語教師を静かに定年まで勤め上げて

いる。マラルメには、多くの人に愛される人気作家となり詩集の売り上げで生きていくつもりは端からなかったということだ。あるいは、自らの綴る新奇な詩が人々に理解されないことは十分承知していたとも言える。例えば、若い友人のアンリ・ドゥ・レニエは、マラルメの言葉として「アナーキストたる権利を有する者はただひとりしかいない。それは私、すなわち詩人だ。なぜならば、私だけが社会から望まれぬものを作り、社会はそれと交換には生きる糧を与えてくれないからだ」と書き残している。

### ヴァイオリンの贋作、その3

純正律音楽研究会 初代代表  
玉木宏樹遺作

若い人はもちろん御存知ないでしょうけど少し年輩の方なら、1981年に発覚した、芸大ガダニーニ事件を覚えていらっしゃる方は多いと思います。これは芸大に、ある業者がイタリアの銘器、ガダニーニを納入しようとして、ヴァイオリン科のU教授に取り入り、本物だとの評価を得て、何千万円かで芸大に売りつけたのですが、これが贋作だということが発覚し、業者とU教授が逮捕された事件です。

業者が逮捕されるのは当然としても、教授の罪は謝礼にもらった、60万か80万の弓がリベートに当たるとして収賄で捕まったのです。この事件は相当に世間をゆるがし、ヴァイオリンのことなんて全く分からない事件記者の何人かが私に取材に来たのを思い出します。誰が贋作と判定したのかは覚えていませんが、クラシック教育の頂点たる芸大を舞台とした汚職事件だけに大スキャンダルとなりましたが、楽器の真贋の判定の危うさについてはNHKでも特集を組みましたが結果は底知れぬ疑問符のままでした。

事件が風化したあとで聞こえてきた噂は「玉木、実はあのガダニーニ、本物だったんだってさ」という信じられない話です。これが事実だったら、とんでもない冤罪なのですが、こんな面倒臭い事件、再審にもならないでしょうね。

このガダニーニを始めとして、ストラディヴァリウス以外の有名楽器も夥しい贋作だらけです。前にも書きましたが、1937年クレモナで行われたストラディヴァリウス死後200年記念祭のイベントとして行われた、ストラディヴァリウス展示会の呼びかけに応じたストラディヴァリウスの楽器と称するのが2000点集まりました。大変な苦労の中で真贋の判定を行ったところ、本物はたったの40点だったそうです。

ストラディヴァリ一家にも沢山ヴァイオリン作りがいましたが中でも一番有名なのはアントニオ・ストラディヴァリ(1644~1737)で、ストラディヴァリウスというのは彼のことを指します。いま世界中で彼の真作と確認されているのはヴァイオリンが334個、ヴィオラが21個、チェロが47個、計402個しかありません。

現在の形のヴァイオリンを完成させたのは、アンドレーア・アマーティと言われています。イタリア・オペラの形を創り上げたモンテヴェルディの少し前の世代で16世紀の人です。このアマーティの楽器は評判を呼び、たちまち有名

になりました。このアンドレーアの孫のニコラも大巨匠で、今、アマーティ作と言われているのは殆どがこのニコラの作品です。このニコラの工房の系統からすばらしい巨匠が生まれました。ジュゼッペ・ガアルネリ(1698～1744)はガアルネリ一家で最も有名で、ガアルネリ・デル・ジェズと呼ばれています。しかし彼の楽器は殆ど彼の妻との合作だったそうです。そしてニコラの直弟子のアントニオ・ストラディヴァリ(1644～1737)が天下を取りました。彼の作ったものの中では1700年(もう50歳をすぎている)以後の20年間の作品が現在、最も高値で取引されています。

このアントニオの完成度はみんなの着目する所となり評判となり、みんながその秘密を何とか盗もうとやっきになります。そういう風潮の中で初めてアントニオの贋作を作ったのは何とアントニオの二人の息子だったのです。兄のフランチェスコ(1671～1743)、弟のオモボノ(1679～1743)ですが、大体、ヴィバルディ、バッハ時代の人です。この二人はとても優秀な製作者だったのですが、長生きした父と共に作業し、父の死後も、アントニオのレッテルを貼ってたくさん楽器を作ったようです。現在、フランチェスコ作は数作、オモボノに至っては1作しかないようです。二人は別に、贋作を作ろうとしたのではなく、アントニオ工房の存続のためだったと思われるのですが、結果的には贋作造りになってしまったわけです。

#### \*贋作名人たち

有名作曲家の贋作を作ったとしても、その真贋を判定できる人は殆どいません。楽譜を読める人が少ない上に、読めても音楽的な判断のできる人はごくわずかです。それに比べ楽器の場合、出てくる音を別にすれば、形、色合い、雰囲気でも多分、判断できるという人はたくさんいるのではないのでしょうか。そういう有象無象を詐いた結果、大金を手に入れる可能性があるのなら、腕には自信があるのに評価の低いヴァイオリン作りが贋作に走るのは十分に理解できます。

しかし、世界中にヴァイオリンの贋作は多すぎます。そこで、ここではとても面白い贋作者を紹介しましょう。

ひとり目はジョン・ベッツ(1775～1823. 英)です。今世界中で古楽器の鑑定に最高の権威をふるっているヒル商会の初代の二代目がこのベッツに師事しています。とにかくすごい腕前と鑑定眼には定評がありましたが、怪しげな振舞をすることでも有名でした。石井宏氏からもう一度引用させていただきます。

あるとき、フランス革命で命が危うくなってパリからロンドンに逃げてきたヴァイオリンの名演奏家ヴィオッティが、知人の貴族から使用中のストラディヴァリを譲れと言われたとき、贋作の名人ベッツに寸分違わぬ贋作を作らせて、そちらのほうを貴族に売りつけようとした。依頼を受けたベッツはただちに、相応の値段で、贋作づくりを引受けたが、こちらは転んでもただでは起きない男だったから、頼まれたのを幸いに、ヴィオッティのストラディヴァリと寸分違わぬヴァイオリンを、二本作り上げたのであった。その贋作のうち一本はヴィオッティから本物として貴族に売り渡されたが、あとの一本をベッツは自分のものにした。のちに本物として高く売りつけるためである。

ベッツに関しては佐々木庸一氏の「魔のヴァイオリン」にも詳しい記述があります。

「ベッツ」という愛称で呼ばれているストラディヴァリの入手にまつわる話もたいへん面白い。19世紀の始めロンドンの取引所通りに店を構えていたヴァイオリン製作者ジョン・ベッツ(1775~1823)のところへ、ある日のこと見知らぬ男が訪ねてきた。そして古ぼけたケースからきれいなヴァイオリンを取り出し、それを売りたいと申し出た。ベッツはこの楽器を詳しく調べた。形はジロラモ・アマティに似ていたが、ストラディヴァリ特有の大胆な男性的な彫り方からみて、間違いなくストラディヴァリのものであることがわかった。この楽器はしかも、無傷のすばらしいものであった。ベッツは、はやる胸を押さえながら、「いくらで売りたいか」と尋ねた。

「20 シリングくらい欲しいのだが」とその見知らぬ男は答えた。商談はすぐにまとまった。その数ヶ月後にこのヴァイオリンを500ポンドで買いたいという人が現れたが、ベッツは手離さなかった。このすばらしい楽器に目をつけたのはヴィヨームであった。彼はこの楽器を見るために、また売ってくれと遺族を口説くために、毎年ロンドンへ行った。そしてとうとう1858年に買うことができた。いくらで買ったかは秘密であった。このときヴィヨームは英語がよくできなかったので、ジョン・ロットというイギリス人の弟子を連れていった。ヴィヨームはその晩、ロットに「あすの朝、このストラディヴァリの力木を取り替えるように」と命じた。

翌朝、ヴィヨームがホテルで着替えをしていると、隣の部屋で力木を取り替えるためにヴァイオリンを開けていたロットが突然、

「このヴァイオリンは一度も修理されていない」と叫んだ。

びっくりしたヴィヨームは着替えも済ませないでそのまま隣の部屋へ駆け込んだ。なるほど、このヴァイオリンの内部は作られたときそのまま、力木もストラディヴァリ自身のものであった。

この中で登場するヴィヨームは数多くの銘器を作っていますが、若い頃の悪行を佐々木氏は書いています。

ヴィヨームは約三千個のヴァイオリンを作ったが、そのうち約五百個はストラディヴァリやガアルネリ・デル・ジェズの模造品である。若い頃に作ったものは木を高温で人工乾燥してあるため、木質繊維がだめになっていて、いい音が出ない。カール・フレッシュは「19世紀の楽器に良いものがないのはヴィヨームの罪である。これは彼が人工乾燥した木を使って楽器を作ったためである。彼の信奉者や模倣者たちが作ったよい楽器約六千個も同じようにだめになっている」と嘆いている。だから19世紀のフランスの楽器を買うときには特に注意しなければならない。

ヴィヨームはヴァイオリンの売買で大儲けをして金持ちになっただけから、若いときの非を悟り、ほんとうに良いものを作るようになった。そして材料もスイス、チロール、ダルマチアへわざわざ探しに出かけ、ニスもよく研究をしてイタリアのニスに近い非常によいものを

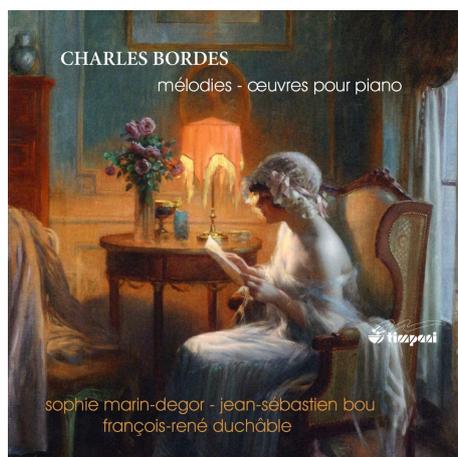
使っている。いまあげた「バルフォア」もその一つで、作りもニスも音もすばぬけて良いため、長い間模造品だということは誰にもわからなかった。このにせストラディヴァリは第一次世界大戦前本物として一万五千マルクもの値段で取り引きされていた。

ヴィヨームの他ににせヴァイオリン作りは数え切れないほどいる。なかには生涯に自分の名前の楽器は一つも作らず全部銘器のにせレットルを貼った楽器しか作らなかったという作家もいる。

しかし、良心的な作家もいる。そういう楽器のレットルには「何某の指導の下で制作」と書いてある。また「ストラディヴァリの模造品。何某作」とうたっていることもある。

ヴァイオリンの贋作名人は他にも無数と行っていいほど存在します。それを書き出すと一冊の本ではすまないほどです。しかし現代に到り、ストラドのコンピュータ・コピー作品が多く出回っています。今の所、評価はよくないのですが、映画のCGの発展と同じで、恐らく誰にも判定できないコピーが作られるのは時間の問題かも知れませんね。

**CD レビュー 純正茶寮**  
**『シャルル・ボルド：歌曲とピアノ曲集』(2012)**  
**純正律音楽研究会理事 黒木朋興**



**『シャルル・ボルド：歌曲とピアノ曲集』(2012)**  
**シャルル・ボルド**  
**レーベル : Timpani**  
**ASIN : B0089D0T7U**

シャルル・ボルドは、1894年にヴァンサン・ダンディが創設したパリのスコラ・カントルムの立ち上げメンバーの一人であり、パリ市庁舎裏にあるサンジェルヴェ教会で聖歌隊を率いて当時復興されたグレゴリオ聖歌の演奏会を行っていた人物である。

詩人マラルメは19世紀末当時この無料の演奏会によく通ったという。グレゴリオ聖歌の復活運動が純正律音楽と大いに関係あることは改めて言うまでも

あるまい。故に、ボルドはこの研究会でも注目すべき重要な作曲家ということになる。

しかし残念なことに、この曲集は彼の合唱曲のものではなく、ピアノ伴奏による歌曲のものだ。というわけで、楽器の響きに関しては、基本、平均律ということになる。にも拘らず、このアルバムが取り上げる価値があるのは、ボルドの歌詞の響きに対する感覚が際立っているからだ。

2013年3月に慶應大学日吉校舎で開催されたマラルメシンポジウムにおいて、19世紀末フランス象徴主義の詩と歌曲の関係について議論し、その後、ソプラノの田子雅代氏とピアノの川口成彦氏による演奏会を開催した。両氏にヴェルレールの韻文詩「わたしの心は悲しかった」にフォーレとボルドが作った歌曲を演奏してもらい、この二人の作曲家の詩の解釈を比較した。フォーレの曲は4和音を多用した、後のドビュッシーやジャズへと繋がるような美しい音楽である。しかし音楽の派手さが目立ちすぎ、歌詞は隠れてしまう印象だ。対して、ボルドの作品は三和音をメインとした保守的な和音である一方、歌詞の内容を伝えようとする強い意志が反映した曲作りになっていた。田子氏はボルドの曲の演奏に心残りがあるとおっしゃっていたのだが、それは単にメロディを音符通りに歌えば良いのではなく、歌うというよりはほぼ詩の朗読を求めているかのようなフレーズが続くことが要因ではないか、という話になった。この曲の演奏には歌の練習だけではなく、台詞回しあるいは朗読の訓練が必要だと思われる。

音楽と言っても、音程とリズムによって全てが決まるわけではない。詩の朗読が醸し出す雰囲気をも含めて音楽の表現力だと言えよう。だとすれば、ボルドの楽曲の繊細な解釈は純正律音楽研究会にとっても一聴に値するものだとは言えないだろうか？

## 中華人民共和国の地誌（1）

NPO 法人 純正律音楽研究会  
正会員 弁護士 齋藤昌男

### 目次

#### 第1. 緒言

#### 第2. 華北区

1. 北京（ペキン）市
2. 天津（テンチン）市
3. 河北省（ホーペイ）省
4. 山西（シャンシー）省
5. 内モンゴル自治区

#### 第3. 東北区

1. 遼寧（リヤオニン）省
2. 吉林（チーリン）省
3. 黒竜江（ヘイロンチヤン）省

#### 第4. 華東区

1. 上海（シャンハイ）市



2. 江蘇 (チヤンスー) 省
3. 浙江 (チョーチャン) 省
4. 安徽 (アンホイ) 省
5. 福建 (フーチエン) 省
6. 江西 (チヤンシー) 省
7. 山東 (シャントン) 省

(今回ここまで)

#### 第5. 中南区

1. 河南 (ホーナン) 省
2. 湖北 (フーペイ) 省
3. 湖南 (フーナン) 省
4. 広東 (コワントン) 省
5. 広西壮 (コワンシーチョワン) 族  
自治区
6. 海南 (ハイナン) 省

#### 第6. 西南区

1. 重慶 (チョンチン) 市
2. 四川 (スーチョワン) 省
3. 貴州 (コイチョウ) 省
4. 雲南 (ユンナン) 省
5. チベット自治区

#### 第7. 西北区

1. 陝西 (シャンシー) 省
2. 甘肅 (カンスー) 省
3. 青海 (チンハイ) 省
4. 寧夏回 (ニンシアホイ) 族自治区
5. 新疆 (シンチヤン) ウイグル自治区

#### 第8. 香港特別行政区

#### 第9. マカオ (澳門) 特別行政区

#### 第1. 緒言

新型コロナウイルス感染症の起源があるのではないかと依然として疑われている武漢、また1000年に一度の大雨で大洪水に遭った鄭州は具体的には何処にあるのでしょうか。また、56の少数民族がいるそうですが、具体的に何処にいるのでしょうか。この頃、ほぼ毎日、中国に関連したニュースが新聞を賑せています。しかし、場所の特定すらなかなか出来ません。そこで今回は、中華人民共和国の地誌を調べてみようと思います。参考にした文献は下記の通りです。

- 二宮書店発行の『データブック・オブ・ザ・ワールド』
- 『The CIA World Factbook』
- ネットに出てくる Wikipedia
- 山川出版社発行の『中国の歴史散歩』 1巻－4巻
- 『地球の歩き方2019～20中国』
- 『lonely planet China』

本記事が掲載される『ひびきジャーナル』は、商業出版物ではありませんので、細かい個々の引用は省略させていただきます。

なお、中華人民共和国の行政区分としては、「4直轄市22省5自治区2特別行政区」があります。

## 第2. 華北区

### 1. 北京市

拼音 Běijīn

カタカナ転写 ペイチン

面積 1. 7万km<sup>2</sup>

人口 2, 154万人

民族	漢族	95. 9%
	マン族	1. 7%
	ホイ族	1. 3%
	モンゴル族	0. 4%
	朝鮮族	0. 2%

地理 北京は河北平原の東北端に位置し、東部は山地、西部は大行山脈、北部は燕山山脈の一部である軍都山に接しており、南部以外は山に囲まれていて全市域の約62%は山地が占めています。

主要な地区及び観光地

#### (1) 故宮

紫禁城とも呼ばれる宮殿の遺構で、明、清の歴代皇帝や皇后が暮らしたところです。故宮の建設開始は1406（明の永楽4）年、永楽帝がこの地に遷都を決め、元の都であった大都に手を加え、皇宮を15年の歳月をかけてほど新しく造営しました。そして収蔵されていた文化財は、およそ150万点と膨大な数になります。

1931年の満州事変に始まる日中戦争や、日中戦争の終結と同時に勃発した共産軍との内戦から、中華民国政府は、空前絶後の疎開作戦を行って貴重文物を守りました。

日中戦争と内戦から守り抜いた民族の遺産は、1949年に中華民国政府の台湾への撤退の決定に基づいて中国大陸から台湾へ運び出され、現在は台北近郊の外双溪にある台北国立故宮博物院に展示されています。

#### (2) 万里の長城

北京北部を東から西へ横たわる万里の長城は、総延長約2万km、司馬遷の『史記』に長さを「万里余」と記されたことに名前の由来があります。万里の長城は、北京市、天津市、河北省、山西省、内モンゴル自治区、遼寧省、吉林省、山東省、河南省、湖北省、湖南省、四川省、陝西省、甘肅省、青海省、寧夏回族自治区、新疆ウイグル自治区と共有しています。

#### (3) 頤和園（いわえん）

頤和園は万寿山とその南に広がる昆明湖の総称で、面積は約290万m<sup>2</sup>、昆明湖の面積が全体の4分の3を占めています。周囲は8kmあります。北京最大の皇家園林（皇室とその一族の庭園）で、1998年に世界遺産に登録されました。

#### (4) 天壇（てんだん）

天壇は、明、清両時代の皇帝が天を祭り五穀豊穡を願って祭祀を行った場所で、現存する中国最大の祭祀建造物です。1998年に世界遺産に登録されました。

## 2. 天津市 (てんしんし)

拼音 Tiānjīn

カタカナ転記 テンチン

面積 1. 1万km<sup>2</sup>

人口 1, 562万人

民族	漢族	97. 4%
	ホイ族	1. 4%
	マン族	0. 6%
	モンゴル族	0. 2%
	朝鮮族	0. 1%

地理 華北平原海河の五大支流の合流する所に位置し、東に渤海を、北に燕山を臨みます。市内を流れる海河は天津の母親河とも呼ばれています。

経済 環渤海湾の経済的中心地であり、中国北方最大の対外開放港です。首都北京とは、高速道路、高速直通列車、京津城際線によって0. 5～2時間以内で結ばれています。河口の塘沽に大規模な港湾やコンテナターミナル、工業地帯が形成されています。

発展の歴史 天津の発展は、隋の煬帝が南北を結ぶ全長1800kmの大運河永濟渠(えいさいきょ)を築いたことに始まります。明の洪武帝の死後に発生した靖難の変(1399～1402年)では、のちに即位して永楽帝となる燕王朱棣(えんおうしゅてい)が、この地の川を渡って南京へ進軍して勝利したことから、群臣は「天子渡津之地」とたたえました。ここから2文字を取り、町は「天津」と命名されました。

## 3. 河北省 (かほくしょう)

拼音 Héběi

カタカナ転記 フーベイ

面積 19万km<sup>2</sup>

人口 7, 592万人

省都 石家荘(シーチャョワン)  
(人口 415万人)

民族	漢族	95. 8%
	マン族	3%
	ホイ族	0. 8%
	モンゴル族	0. 3%
	チョワン族	0. 02%

地理 黄河の北に位置し、黄海に面する。北京市・天津市を取り囲むように位置し、北部は遼寧省・内モンゴル自治区と接し、西部は山西省、南部は山東省・河南省と接しています。

主要な都市・観光地等

(1) 石家荘(せきかそう)

石家荘は河北省の省都であります。北京や天津が近くにあるので、省都のわりには、日本には知られていません。実は古い歴史を持つ古都であり、町のいたるところで殷周時代（2000～3000年前）の文物が出土しています。

(2) 承德（しょうとく）

河北省の北東部、北京の北東230kmの所に位置します。燕山山脈の南麓にあり、山に囲まれたその場所は、避暑地として絶好の場所であり、清朝の康熙帝から3代にわたり、夏宮がおかれたところです。清代の夏宮は世界遺産となっています。

(3) 張家口（ちょうかこう）

北京から西に200km、河北省に位置し、万里の長城が連なる要衝の町です。

(4) 邯鄲（かんとん）

日本では盧生（ろせい）という人物がこの町で道士呂翁の枕を借りて眠り、自己の一生を夢見た「邯鄲の夢」という故事で知られているところです。

4. 山西省（さんせいしょう）

拼音 Shānxī

カタカナ転記 シャンシー

面積 15.6万km<sup>2</sup>

人口 3,729万人

省都 太原（タイユワン）  
(たいげん)

(人口 287万人)

民族 漢族 99.7%

ホイ族 0.2%

マン族 0.3%

モンゴル族 0.01%

地理 北は万里の長城を挟んで内モンゴル自治区と接し、東は太行山脈を挟んで河北省と接し、南は黄河を挟んで河南省と接し、西は北上した黄河を挟んで、陝西省と接しています。

言語 中国語のうち晋語（晋方言）が話されています。

経済 沿海部に比べると、かなり貧しい地域ですが、大同や太原には大型の炭鉱があります。山西商人（晋商）は全国に勢力を延して、中国の金融を支配しました。

三国志に出てくる同郷の関郷の関羽を信仰し始めたのは、この山西商人であり、現在では中国全土はおろか、華僑のいる世界各地に関帝廟が知られており、勿論、横浜、神戸にも関帝廟があります。

主要な都市・観光地等

(1) 太原（たいげん）

山西省の中部に位置する省都で、則天武后（唐代）、詩人である王維や白居易（唐代）、『三国志演義』の作者と言われる羅貫中（元末明初）の出身地です。

(2) 平遥（へいよう）

太原の南西90kmに位置します。1370年（明の洪武3）に築かれその後25回にわたり修復を受けた平遥古城があり、世界遺産です。

(3) 大同（だいどう）

山西省の北部、河北省や内モンゴル自治区と接する大同には、世界に名だたる仏教芸術の宝庫のひとつである雲崗石窟（世界遺産）があります。洞窟は53窟あり、彫像は5万1000体あります。

(4) 五台（ごだい）

五台は太原から230km離れた北東部にあり、世界遺産に登録された五台山があります。五台山は日本から仏教を学ぶために中国にやってきた留学僧の多くが訪れた場所です。

5. 内モンゴル自治区

（うちモンゴルじちく）

拼音 Nèi Měnggū

カタカナ転記 ネイモンゲー

面積 118.3万km<sup>2</sup>

人口 2,540万人

自治区首府 ホフホト

民族	漢族	79.5%
	モンゴル族	17.1%
	マン族	1.8%
	ホイ族	0.9%
	ダフル族	0.3%

地理 東西に長く伸びており、東から順番に黒龍江省・吉林省・遼寧省・河北省・山西省・陝西省・寧夏回族自治区・甘肅省と南に接し、北はモンゴル国・ロシアと接しており、面積は日本の約3倍あります。内モンゴルの高原は、標高600～1400mで、地形は西が高く東が低く、南が高く北が低く、大興安嶺が東部を南北に約3000kmにわたり走っており、また東西には陰山山脈が走っています。

内モンゴル自治区の沿革

内モンゴル自治区は、蒙古高原、いわゆるモンゴリア Mongolia の東南部一帯を占め、その面積は新疆ウイグル自治区、チベット自治区に次いで3番目に大きい自治区です。

モンゴリアの地域は13世紀の初め、チンギス・ハンの率いるモンゴル民族によって統一されました。そのほど中央に西南から東北にかけて横たわるのがコビ砂漠であり、コビの北が外モンゴル、南が内モンゴルと呼ばれてきました。

清朝は、内・外モンゴルと合わせて治下におきましたが、1911年に辛亥革命が起ると外モンゴルは独立を宣言しました。1924年11月にはモンゴル人民共和国が成立しました。第2次大戦後の1946年、中国政府もその独立を宣言しました。内モンゴルは中国に残り、1947年に内モンゴル自治区が成立しました。

第3. 東北区

1. 遼寧省（りょうねいしょう）

その時現在の都市名である「大連」と名づけられました。1945年、日本の敗戦により、大連植民地時代は終わりました。

大連郊外には、古い日本人にとっては忘れがたい「203高地」「水師営会見所」「東鶏冠山北堡壘」があります。

現在、大連は、日本をはじめ多くの外国企業が進出する経済先進地域であり、「北方の香港」と呼ばれる港湾都市です。

### (3) 錦州 (きんしゅう)

瀋陽から山海関を経て北京に達する悦道京哈(けいは)線を利用すると、遼東半島の北端の近くに錦州市があります。ここは1948年9月から11月にかけて、共産党の人民解放軍と国民政府軍との間で東北の帰趨を決するいわゆる遼瀋戦役のあったところです。

### (4) 撫順 (ぶじゅん)

瀋陽から東へ約50kmのところに炭坑の町の撫順があります。清代の末期から採鉱掘が行われていましたが、日本が経営するに及んで、大規模な露天掘が開始されました。

## 2. 吉林省 (きつりんしょう)

拼音 Jilin

カタカナ転記 チーリン

面積 18.7万km<sup>2</sup>

人口 2,691万人

省都 長春 (チャンチュウ)  
(人口 436万人)

民族	漢族	92%
	朝鮮族	3.8%
	マン族	3.2%
	モンゴル族	0.5%
	ホイ族	0.4%

地理 北部を黒竜江省、西部を内モンゴル自治区、南部を遼寧省に接し、東部はロシアと接し、南東部は朝鮮民主主義人民共和国と接します。

略史

- 1616年後金建国
- 1636年後金が清に改名  
モンゴル高原の契丹に従属していた当時の女真の民族名を嫌い、1635年11月22日に民族名を満州族に改め、それまで女真王朝である金の後裔として「後金」と名乗っていましたが、民族名の変更に伴って翌1636年に国号も「清」に改めました。
- 1907年清朝により吉林省が正式に設置されました。
- 1912年2月12日清朝滅亡
- 1928年張作霖爆殺事件
- 1931年(昭和6年)9月18日、柳条湖事件に端を発して満州事変が勃発、関東軍により満州全土が占領されました。
- 1932年(昭和7年)3月1日、満州国建国。中華人民共和国の歴史書や事典などでは「偽満州国」あるいは「偽満」と称しています。中華民国(台湾)で出版されたものでも同じです。

拼音 Liáoníng

カタカナ転記 リャオニン

面積 14.6万km<sup>2</sup>

人口 4,352万人

省都 瀋陽 (シェンヤン)  
(人口 586万人)

民族	漢族	84.8%
	マン族	12.2%
	モンゴル族	1.5%
	ホイ族	0.6%
	朝鮮族	0.5%
	シボ族	0.3%

地理 北東部を吉林省、北部を内モンゴル自治区、西部を河北省と接します。南西部は遼東半島を境に海域が分かれる黄海と渤海に面し、南東部は朝鮮民主主義人民共和国と接します。

#### 南満州鉄道

遼寧省、吉林省及び黒竜江省を語る場合、古い日本人にとっては、南満州鉄道の事をどうしても触れざるを得ません。ほんの一旦だけ触れておきます。

南満州鉄道は、日露戦争終結後、1905年(明治38年)に締結されたポーツマス条約によってロシア帝国から大日本帝国に譲渡された東清鉄道南満州支線(長春・旅順間)を基礎にして発展させたものです。

1934年(昭和9年)11月、大連―新京間に満鉄最初の特別急行「あじあ」が登場しました。全盛期の代表的な列車は以下の通りです。

- ・特急「あじあ」 大連・新京・哈爾濱
- ・急行「はと」 大連・新京
- ・急行「ひかり」 釜山―新京
- ・急行「のぞみ」 釜山―新京
- ・急行「大陸」 釜山―奉天―北京
- ・急行「興亜」 釜山―奉天―北京
- ・急行「あさひ」 羅津―新京

(羅津は北朝鮮のロシア国境近くにある町です。)

#### 主要な都市

##### (1) 瀋陽(しんよう)

17世紀初めに後金(清)が建国すると、1625年に瀋陽を国都としました。やがて盛京と改称し、1644年に清朝が北京に遷都するまで19年間国都として栄えました。清朝の行政中心は北京に移されましたが、瀋陽は陪都(副都)として重んぜられ、1657年には奉天(ほうてん)と改称されました。

##### (2) 大連

1898年帝政ロシアとの間に旅順と大連を租借地とする条約が締結されました。

1905年、日露戦争を経て日本による直接統治(租借地)となり、

。1920年代以降、鉄道建設により交通の要衝であった長春県の経済的重要性が高まり、1932年の満州国建国に際して満州国の首都となり、「長春」を「新京」と名称を変更しました。

重要な都市・観光地等

(1) 長春 (ちょうしゅん)

1930年代から1945年まで、長春には多くの日本人が暮らしており、満州国時代の建物が今でもそのまま使われております。

(2) 吉林 (きつりん)

昔の吉林には満州族の祖先である粛慎 (しゅくしん) 人が住んでおり、彼らはこの地を川沿いの町という意味の Girin Ula (吉林烏辺) と呼んでいました。

(3) 集安 (しゅうあん)

高句麗が桓仁県の五女山城 (ごぞさんじょう) がここへ移ってきてから (1世紀とも2世紀ともいわれている) 427年に平壤へ遷都するまで、集安は高句麗の政治と文化の中心でありました。

3. 黒龍江省 (こくりゅうこうしょう)

拼音 Hēilóngjiāng

カタカナ転記 ヘイロンチャン

面積 45.4万km<sup>2</sup>

人口 3,751万人

省都 ハルビン

(人口 551万人)

主要民族

漢民族 96.4%

マン族 2%

朝鮮族 0.9%

モンゴル族 0.3%

ホイ族 0.3%

地理 北はアムール川を隔ててロシア極東管区のハバロフスク地方、アムール州、ユダヤ自治州と接し、東はウスリー川を隔ててロシア極東管区の沿海地方と接します。南は中国の吉林省、西は内モンゴル自治区のフルンボイル市と接します。

中国の重要な食糧生産基地のひとつでもあり、良質な黒豆 (黒大豆)、大豆、小豆が栽培されています。

主要な都市

(1) 哈爾濱 (ハルビン)

ハルビン市は、黒龍江 (アムール川) の支流松花江の右岸に位置します。1896年にロシアがシベリア鉄道の支線として東清鉄道を敷設し、1898年にはここから長春を経て大連に至る支線が敷設されました。黒龍江省の政治・経済の中心であります。今日のハルビンは、「東方のモスクワ」「東方の小パリ」などと呼ばれています。

一つ特記しておきたい事は、1909年10月26日、ハルビン駅頭で日本の枢密院議長伊藤博文が安重根に暗殺されていることです。



(2) 齊齊哈爾 (チチハル)

清代には黒竜江将軍が駐在し、黒竜江地区の中心地でした。清末東清鉄道が建設されると、物流の拠点ハルビンに移行してしまいました。しかし、現在でも黒竜江省西部の政治、経済、文化の中心です。

(3) 牡丹江 (ぼたんこう)

牡丹江の都市としての歴史は短く、ここ100年ほどに過ぎません。ロシアが東清鉄道を敷設したときに原生林地帯に(旧)牡丹江駅を設置しました。1934年に図寧線が全通すると数千人の日本人が入植しました。その後牡丹江市は東部満州の拠点として関東軍が基地をおきました。この為もあって、牡丹江の沿岸に多くの日本人開拓団が入植しました。

終戦時の悲劇

(1) 1945年8月のソ連参戦により沿海州からソ連軍の大軍が攻め寄せ牡丹江は最前線となりました。関東軍は各地で壊滅し、牡丹江の開拓地の日本人農民は、あるいは行き倒れ、あるいはソ連軍や中国人住民に襲撃・虐殺され、多くの死者を出しながら朝鮮北部方面へ引き揚げ、この間大量の中国残留日本人孤児が発生しました。

(2) 一方、軍属に関しては、武装解除され投降した日本軍捕虜らが、ソ連によって主にシベリアなどへ労働力として移送隔離され、長期にわたって抑留生活と奴隷的強制労働によって多数の人的被害を生じました。ソ連によって戦後に抑留された日本人は約57万5千人になります。この内約5万8千人が死亡しています。これは勿論、国際法違反ですが、ソ連側の言い分は、移送した日本軍将兵は戦闘継続中に合法的に拘束した「捕虜」であって、戦争終結後に不当に留め置いた「抑留者」でないと強弁しています。

第4. 華東区

1. 上海市

拼音 Shànghái

カタカナ転写 北京官話：シャンハイ

呉語・上海語：ザオンヘー

面積 6, 341 km<sup>2</sup>

人口 2, 438万人

民族	漢族	98. 8%
	ホイ族	0. 3%
	マン族	0. 1%
	朝鮮族	0. 1%
	チョワン族	0. 1%
	トウチャ族	0. 1%
	ミヤオ族	0. 1%

地理

長江南岸に位置し、河口島である崇明島、長興島、横沙島などを含み、北部から東部は江蘇省・西南部は浙江省と接し、東は東シナ海に接します。

変わったところでは、江蘇省と安徽省に上海市の飛地がいくつか存在します。刑務所用地もありますが、全部で5ヶ所あります。

#### 気候

ケッペンの気候区分では、温暖湿潤気候に属します。但し、鹿児島県と同緯度の割には寒冷です。

#### 位置付け

中華人民共和国の直轄市であり、同国の商業・金融・工業・交通などの中心地であり、中国最大の都市圏であります。英国のシンクタンク Z/Yen グループが、2021年3月に発表した世界金融センターランキングによると、ニューヨーク、ロンドンに次ぐ世界で第3位であります。

然しながら、上海の歴史を振り返ると、上海は長いあいだ長江の支流である黄浦江に面した単なる倉庫街にすぎませんでした。一連の「不平等条約」の端緒を切った1842年の南京条約で租界地ができそこに大勢の外国人が住み始めてから、上海は重要性を増しました。1920年代から30年代にかけて、近代中国のシンボルであり、資本主義を具現化した国際都市となり、上海は、物資と同時に西洋思想の入口ともなりました。

上海は、1949年を境に、二面性を持った町となりました。即ち、工業の中心拠点となりながら、資本主義やデカダンスの象徴でもありました。

上海市を出身母体とする江沢民が政権を振った1989年になって、上海は驚異的な発展を遂げることになります。

## 2. 江蘇省（こうそしょう）

拼音 Jiāngsū

カタカナ転記 チャンスー

面積 10.3万km<sup>2</sup>

人口 8,070万人

省都 南京（ナンキン）

人口（663.0万人）

民族 漢族 99.5%

ホイ族 0.2%

ミャオ族 0.1%

トウチャ族 0.1%

チョワン族 0.03%

#### 地理

江蘇省は長江（揚子江）の下流一帯から東海岸に沿って北方にわたる地域を占めます。かつては上海市も江蘇省に属していましたが、現在は特別市とされます。従って、北部を山東省、西部を安徽省、南部を浙江省・上海市と接し、東は海に面します。省南部には、中国で3番目に大きな淡水湖である太湖を有し、また京杭大運河が南北に縦貫し、水路が網の目の様にあります。

#### 言語

言語は長江を境に、北側は北京官語（標準語）圏、南側は呉語圏となっております。但し、長江以南の南京市は、北京官語圏となっていま

す。

#### 主要な都市

(1) 南京 (なんきん)

Nán Jīng (ナンジン)

長江の河口から360km遡った盆地に位置し、中国の三大かまど(残る2都市は武漢と重慶)のひとつで、夏の猛暑は有名です。

雄大な長江と明代の城門が自慢の南京は、北京、西安、洛陽と並び中国の四大古都です。

(i) 中山陵 革命の父といわれ、三民(民族、民権、民生)主義を唱えた孫文(1866-1925年)〈中国では一般に孫中山と呼ばれます〉の陵墓が、市中心部の東、紫金山の中腹にあります。

(2) 蘇州 (そしゅう) Sū Zhōu (スージョウ)

江蘇省の南東部、長江三角州の中心に位置します。河南の都市は水を巧みに利用しており、その特色が最もよく出てくるのが蘇州であり、マルコ・ポーロの『東方見聞録』にもその様子が伝えられています。またその情景があまりにも秀麗であるので、いつしか町は「東洋のベニス」と呼ばれるようになりました。

(3) 無錫 (むしゃく)

長江下流の平野部に位置する都市で、南部には太湖(中国で3番目に大きな淡水湖で、琵琶湖の約3倍)を抱え、北には長江が流れ、市内には北京と杭州を結ぶ京杭運河を中心に多くの運河が張り巡らされている水郷の町です。

(4) 鎮江 (ちんこう)

江蘇省の南西部にある長江沿岸の町で古来より江南の風光明媚な所として知られ、詩人李白及び白居易もここを訪れて、詩文を残しています。

(5) 揚州 (ようしゅう)

江蘇省の中部に位置し、北は淮水に接し、南は長江に臨み、その二つの大河を京杭運河が結んでいます。

ここは鑑真の故郷であり、唐の天宝年間に鑑真がこの地より日本へ向けて出発しました。日本の遣唐使の多くは、揚州を通して長安へ入っており、空海も804年に揚州を訪れています。

### 3. 浙江省 (せつこうしょう)

拼音 Zhèjiāng

カタカナ転記 チョーチャン

面積 10.2万km<sup>2</sup>

人口 5,850万人

省都 杭州 (ハンチョウ)

(人口545万人)

民族 漢族 97.8%

ミャオ族 0.6%

トウチャ族 0.4%

シヨオ族 0.3%

トン族 0.2%

## 地理

華東地区中部に位置し、東シナ海に面しています。浙とは省内最大の河川である銭塘江を指します。北に江蘇省と上海市、西に安徽省と江西省、南に福建省と接し、東は東シナ海に面しており、古来より交易で栄えました。沿海には舟山列島など約2千の島々が散ばり、中国で最も島嶼が多い省であります。

## 主な都市

### (1) 杭州 (こうしゅう)

(ハンチョウ)

杭州は上海の南西約150kmに位置します。銭塘江のほとりに開け、その中心は2011年に世界遺産に登録された西湖があります。元代に杭州を訪れたマルコ・ポーロは、この町を「地上の楽園」とたたえています。

### (2) 紹興

浙江省の北部、杭州の東約60kmに位置する比較的小さな都市です。紹興は、文豪魯迅、周恩来、清代の女性革命家秋瑾の故郷としても有名です。

名産は紹興酒、中国語では黄酒とも呼ばれており、これは米を原料として作る醸造酒のことです。

### (3) 寧波 (ニンポ)

寧波は長江デルタの東南に位置し、古来より重要な港湾都市として知られています。古くは遣唐使など日本人留学生や僧侶が第一歩を記したところです。

儒学一派、陽明学を創始した王陽明(1472-1528)の出身地であります。

### (4) 天台

天台は、杭州の南東約220km、寧波の南西約140kmにある小さな町です。町の名の由来は、県北東部にある天台山で、この山は仏教、道教、儒教の聖地として中国では古くから知られています。9世紀の初頭には、留学僧の最澄が日本へ天台宗を伝えました。

## 4. 安徽省 (あんきしょう)

拼音 Anhui

カタカナ転記 アンホイ

面積 14.0万km<sup>2</sup>

人口 6,366万人

省都 合肥 (ホーフエイ)

(人口259万人)

民族 漢族 99.3%

ホイ族 0.6%

ミヤオ族 0.02%

マン族 0.01%

チョワン族 0.01%

## 地理

北東部は江蘇省、南東部は浙江省、南部は江西省、西南部は湖北省、西

北部は河南省と接しています。

省南部は長江、省北部は淮河が貫流し、昔から江淮の間と呼ばれる平原地帯であります。省中央部には巢湖があります。

#### 経済

中国で経済活動が最も活発な長江三角州の西側に位置し、重要な家電・自動車生産基地です。

#### 主要な都市と世界遺産

##### (1) 合肥

南肥河と北肥河の合流地点に町が造られたため、この名を得たと言われています。中国では、三国時代の古戦地であることから「三国故地」、北宋の名臣包拯（ほうしょう）の出身地であることから「包拯家郷」と呼ばれることも多くあります。

##### (2) 黄山（こうざん）（ホアンシャン）

二つの世界遺産のある町です。

(i) 一つは雄大な景観を誇る黄山で、72の奇峰からなる山岳風景地で有名です。

(ii) もう一つは山あいには点在する古い家屋が立ち並ぶ村々の風景で、西遞と宏村と呼ばれるところです。

#### 5. 福建省（ふっけんしょう）

拼音 Fújiàn

カタカナ転記 フーチェン

面積 12.1万km<sup>2</sup>

人口 3,973万人

省都 福州（フーチョウ）  
（人口203万人）

民族 漢族 97.8%

シヨオ族 1%

ホイ族 0.3%

トウチャ族 0.2%

ミャオ族 0.2%

#### 地理

北は浙江省、南西は広東省、西は江西省と隣接しています。省内に武夷山脈と戴雲山脈があり、武夷山脈は江西省との境となっています。

#### 言語

中国国内でも地域による方言差の激しい地域で、主に福建省で使用される閩語（広義の福建語）は中国語の7大方言のひとつです。

#### 経済

烏龍茶の生産地として広く知られ、特に武夷山市で生産される武夷岩茶（ぶいがんちゃ）は世界的に有名です。また、古くからラブサンサーション紅茶の輸出も続いています。

#### その他

居住する台湾人も多く、2017年には福建省に来た台湾出身者は延べ300万人を超えています。

#### 主要な都市と地域

(1) 福州

省都の福州は、閩江の河口に近く、中国における有数の海港です。

(2) 泉州

対外貿易港として繁栄し、多くの渡来人が住みつき、ここを訪れた日本人も少なくありません。しかし、河川の土砂の堆積が進み、地形が変化して、港湾機能の退化がみられ、外洋船の大型化にともなう衰退してゆきました。

(3) アモイ (厦門シアメン)

福建省の南東部、九龍江の河口に位置する港湾都市で、対岸は台湾、中心となるのは東西13km南北14kmのアモイ島です。「アモイ」は厦門を地元の言葉の閩南語(台湾語の仲間)読みしたもので、国際的にもAmoyで通用しています。

(4) 武夷山 (ぶいさん)

武夷山市は、福建省の北部に位置し、江西省に接しております。武夷山風景名勝地区は市の南15kmのところであり、東西5km、南北12kmにも及び、36の山、72の洞窟、99の奇岩があり、碧水丹山(へきすいたんざん)〈青い水と赤い山〉とされています。

6. 江西省 (こうせいしょう)

拼音 Jiāngxī

カタカナ転記 チャンシー

面積 16.7万km<sup>2</sup>

人口 4,666万人

省都 南昌 (ナンチャン)

民族 漢族 99.7%

シヨオ族 0.2%

ミャオ族 0.02%

ホイ族 0.02%

チョワン族 0.02%

地理

中国中部(華中)の内陸部に位置し、北は湖北省、安徽省、東は浙江省、福建省、南は広東省、西は湖南省と接しています。省北部は長江南岸となり、巨大な鄱陽湖(はようこ)が広がっています。

主要な都市その他

(1) 南昌 (なんしょう)

1927年の南昌における共産党による武装蜂起事件により、南昌は英雄城としてたたえられるようになりました。この事件を中国人民解放軍の誕生と捉え、以後、現在にいたるまで、事件の起きた8月1日を建軍節と定めて祝うようになりました。

(2) 九江

九江は江西省の北端に位置し、北は長江、東に鄱陽湖を望みます。「多く(=九)の川(=江)の集る場所」であることから分かるように、古くから水運で栄え、そのため、軍事拠点として重要で、三国時代の赤壁の戦いや清代の太平天国の乱でも戦争の勝負を分ける決戦の場となりました。

### (3) 廬山

廬山は鄱陽湖の北東部に位置し、北に長江を臨むところに約25kmにわたって標高1300～1500mほどの山並が続く断層面が地上に突き出した峻険な景勝で、高低差600メートルほどのところを落ちる匡廬瀑布は見る者を圧倒します。

### (4) 井岡山

井岡山は江西省西部の湖南省との省境付近にある標高995メートルの山で、山中に自然の要塞のような小さな盆地が点在しています。

1927年10月下旬、敗退した毛沢東は残兵1000名を率いて井岡山へ逃れました。翌28年春、朱徳が約1万名の工農革命軍（間もなく紅軍と改称）を率いて井岡山に到着しました。以後井岡山とその周辺地域は、共産党の最初の革命根拠地となりました。

## 7. 山東省（さんとうしょう）

拼音 Shāndōng Shěng

カタカナ転記 シヤントンシュン

面積 15.4万km<sup>2</sup>

人口 10,070万人

省都 済南（チーチン）  
(人口473万人)

民族	漢族	99.2%
	ホイ族	0.6%
	朝鮮族	0.1%
	マン族	0.05%
	モンゴル族	0.02%

### 地理

北を河北省と接し、南を河南省・安徽省・江蘇省と接しています。山東半島が渤海と黄海に突き出しており、遼東半島と相対しています。北西部・西部・南西部はすべて華北平野の一部を占め、ほぼ平坦であります。

### 経済

経済規模では、広東省に次いで第2位の実力を持っており、渤海湾経済圏を構成しています。

### 主要地域

#### (1) 済南（さいなん）

渤海に注ぐ済水（現在の黄河）の南にあることから済南と称されます。済南の歴史は古く、付近の龍山から4000年前の黒陶が出土し、龍山文化の発祥の地のひとつとされています。

#### (2) 泰安（たいあん）

泰安は済南の南50kmに位置する地方都市で、市区北部にある泰山で有名です。この山は、中国はもちろん世界的にも名高い名山で、世界複合遺産にも登録されています。泰山の南大門に続く階段は1630段あり、歩いた場合は、上りが2時間、下りが1時間30分かかります。

#### (3) 曲阜（きょくふ）

春秋戦国時代魯の都だった所で、約800年都として栄えました。  
曲阜は儒教の創始者孔子の故郷であります。それは全市人口の5分の1が孔姓であることから良く分かることです。

(4) 青島 (チンタオ)

青島は、現在、上海・大連・広州に次ぐ中国第4位の青島港を擁する貿易都市です。

「青島ビール」が特に有名ですが、前身はドイツ租借時代の1903年にドイツ資本によって建てられたもので、青島市街の東方約30kmにある嶗山に湧出する良質な鉱泉水を使用し、年間約5万tのビールを生産しています。

以上

2021年9月3日脱稿

今後のスケジュール

【癒しの音楽コンサート】

2021年11月26日(金曜日)14時開演

開場：横浜市磯子区民センター「杉田劇場」

出演：水野佐知香(Vn)、三宅美子(Hp)、吉原佐知子(箏)

【クリスマスコンサート 2021】

2021年12月18日(土曜日)14時開演

会場：新宿区立 牛込箏笛区民ホール

出演：水野佐知香(Vn)、三宅美子(Hp)、吉原佐知子(箏)、荒井章乃(Vn)  
森夕希子(piano)



おたより募集！

会報のご感想、ご意見、純正律音楽にまつわること等々、なんでもお寄せ下さい。たくさんのお便りを、お待ちしております。

次号の【ひびきジャーナル】にてご紹介させて頂きたいと思っております。

〒168-0072

東京都杉並区高井戸東 3-2-5-102 NPO 法人 純正律音楽研究会

お電話：03-5317-0291 FAX：03-5317-0289

e-mail：puremusic0804@yahoo.co.jp <http://just-int.com/>

2021年11月17日 発行責任者：NPO 法人 純正律音楽研究会

編集：相坂政夫

\*純正律音楽研究会 YouTube チャンネルを開設しました。

コンサートや CD 紹介の映像が当会ホームページからご覧いただけます。

<http://just-int.com/>